

環境学習みえ

2014年6月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行
表紙の人／寺田 卓二さん 2014 No.57

夏

自然観察指導員
地域の自然を守る輪を広げよう



自然観察指導員 ～地域の自然を守る輪を広げよう～

自然観察を通して、自然の楽しさや大切さを伝える「自然観察指導員」。地域の自然の魅力をいかした観察会が各地で開かれ、「自然観察指導員」はその担い手として活躍しています。



NACS-J 日本自然保護協会 自然観察指導員とは？

自然観察指導員は地域に根ざした自然観察会を開いていくなかで、自ら自然を守り、仲間をつくる、ボランティアリーダーです。

日本自然保護協会では「NACS-J 自然観察指導員」の養成を35年以上に渡り、全国の地方自治体や自然保護団体などの共催で行っています。

これまでに全国で2万7,000人を超える方が講習会を受講し、自然観察指導員として地域で活動しています。

地域の自然の大切さを伝える 自然観察指導員

自然観察指導員は里山や川、海岸などのさまざまな場をフィールドにして活動しています。そのなかで今回は、四日市市で活動している自然観察指導員の寺田さんについての活動をしていますのか、お話を伺いました。

寺田さんが自然観察指導員になったのは、高校の生物の教員をしていたことがきっかけでした。当時の三重県理科教育センターへ赴任した時、小・中・高の教員を対象にした理科の実験・観察の指導を行う関係で、昭和60年、自然観察指導員講習会を受講したそうです。

寺田さんは中学生の時に参加した臨海実習で磯の生き物を見たことがきっかけとなって、自然に興味を持つようになりました。「机の前に座ったままの授業はしたくない！」という思いから、授業にも実験や実習を積極的に取り入れ、生徒に本物の生態や自然の楽しさを伝えるということを大切にしてきました。

特にこどもたちは、実体験を通して自然というものに触れながら感性を育んでいきます。このような実体験のある自然観察会には、自然の大切さやその価値への気づきが溢れています。

そこで実際に寺田さんたちが行う自然観察会に参加してきましたので、そのようすをご紹介します。



【お話を伺った人】

寺田 卓二さん

(公財)日本自然保護協会 会員
自然観察指導員 三重連絡会 会員
四日市自然保護推進委員会 運営委員
元県立四日市中央工業高校 校長

四日市自然保護推進委員会 主催

「新緑の里山～里山の植物、昆虫、動物たち」

四日市市 南部丘陵公園 自然観察会



晴天の5月、58名の参加者が集まりました。そして自然観察指導員の寺田さんをはじめとする自然保護推進委員会のメンバーと一緒に、自然の中を歩きながら昆虫や植物などを観察しました。

自然の中で本物に触れよう！

最初に公園内にいる生き物のお話を聞いたあと観察にでかけます！



自然の中は気持ちいいね！

出会った植物や動物たち。



2



1



3

1 キクラゲを発見。広葉樹の枯れ木などに群生するキノコです。
2 「イタドリ(タデ科の多年生植物)」を見つけました。寺田さんがイタドリの茎を食べて見せると、こどもたちはびっくり！
3 捕まえたカナヘビを手を持ってハイチーズ♪この女の子は自分から「観察会に参加したい!」と言って、お母さんと一緒に参加したそうです。



穴を開けたのはだあれ？

コゲラ(キツツキ)です。

寺田さん「生き物を見つけたたり、お話を聞いて楽しかったというのもいいんです。参加者にとって自然観察会が何かを考えるきっかけになればいいと思います」



里山で生き物と触れ合いました。



観察会をきっかけに

子どもたちは「視・聴・嗅・触・味」の五感を使って思いっきり自然に親しみ、そこから自然のしくみを知っていきます。

この日の観察会の最後に、荒廃した里山のようにや公園の脇にある三面張りの水路を見ながら、寺田さんは「ここは生き物にとって住みやすいところなのかな?」と子どもたちに問いかけ、これを観察会の締めくくりとしていました。



里山の再生をめざして

自然観察会のフィールドになつてい
南部丘陵公園には、コナラなどの落葉広葉
樹の里山が残っています。長い間放置され
ていたため、林の中は暗い状態になつてい
て、そのうえナラ枯れが目立ってきました。
暗い林の中では他の植物は育ちにくく、
明るい林の中を好む昆虫などの生き物の
数が減ってしまいます。

そこで「観察会ができる里山を取り戻そ
う」と、3年前から寺田さんが所属する四
日市自然保護推進委員会と他団体が協力
して、暗くなった林を小面積ずつ皆伐する
という方法での里山整備を始めました。



- 1 里山の整備を始めた頃の伐採作業の様子。伐採した木材は薪などに利用しています。
- 2 コナラの伐り株からは新しい芽が出て(萌芽)、成長しています。
- 3 アカマツの実生(みしょう)。羽根のついた種子は風に乗って落ち、芽が出ます。長い時間をかけて、里山の再生を目指しています。



観察会では明るくなった里山の

中へ入り、暗い里山との違いを体感
しました。この里山がどのように変
化していくか、観察していくことも
今後の観察会の楽しみのひとつで
す。人が手を入れることによつて
維持されている里山のように見え
ることで「人と自然のかかわり」を
学ぶことができました。

このように自分たちのフィール
ドで自然観察を続けていると、地域
の課題が見えてくることもありま
す。それを見越さずのではなく自分
の問題として解決していこうと、
寺田さんたちは仲間と協力し合い、
活動しています。

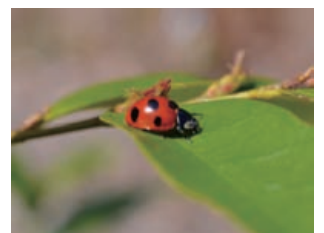
自然観察指導員になりませんか

寺田さんのお話には、これから自然観察
指導員を目指す人にとつて、ヒントになる
ようなことがたくさんありました。「自然
観察指導員」というと、人に指導したり教
えたりするのは自信がない、と躊躇する人
もいるでしょう。しかし自然が好きなら
であれば、誰でも自然観察指導員になるこ
とができます。なにより「みんなで一緒
に観察会を楽しみましょう！」という姿
勢を持つことが大切です。

まずは近くで開催されている自然観察会
に参加してみることをおすすめします。すで
に活動している仲間の中に入って、自分の得
意な分野でお話することから始めます。自
然に関する知識も求められますが、一方的な
解説だけで終わるのではなく、参加者が観察
を通して体験することが重要です。

例えばテントウムシを見つけた子どもに
すぐに種名を教えるのではなく、さらに特
徴を見つけて調べてみようかと促します。も
し先に種名を知ってしまうと、それ以上観
察するのをやめてしまうことがあるからで
す。自分から興味を持つて観察することで、
新たな発見につながる可能性もあります。

また動植物の種名がわからなくても「そん
なものがあったんだ！いいところに気がつい
たね。何か調べてみようか。」という一言で、



「ナナホシテントウ」は、7つ
の黒い斑点があるのが特徴です。
これによく似た「ナミテントウ」
は個体によって斑紋の数や色が
違います。特徴を知って観察し
てみるとはつきり違いがわかり
ます。

子どもはその生き物の特徴をもつと
よく観察しようとしています。

寺田さん「同じフィールドで何
度も観察会をしても、初めて出
会う生き物や植物があります。自然
の中では、まだ知らないことがいっ
ぱいです。」

自然観察会は勉強会ではなく、「大
切な自然をどうやったら残せるか」
を訴えかける具体的な手段のひとつ
です。地域で自然を守っていく人
の心づくりにもつながっています。

今秋、「NACSJ自然観察指導
員講習会」が三重県で開催されるこ
とになりました。講習会では自然
保護の考え方や自然の見方などを
学んでいきます。豊かな自然を次
の世代へとつないでいく仲間に、あ
なたもなってみませんか。

自然観察からはじまる自然保護



主催：(公財) 日本自然保護協会 自然観察指導員三重連絡会 三重県環境学習情報センター

NACS-J



自然観察指導員講習会 参加者募集

申込み期間
7月5日(土)
～8月5日(火)

あなたも参加し、自然を守る力になりませんか？
自然保護の考え方や自然観察の手法を学ぶなど、1泊2日の充実したプログラムで自然の「見方」を身につけます。

NACS-J 自然観察指導員の登録

1泊2日で開催している自然観察指導員講習会の全日程を修了し、登録申請した方は、「NACS-J 自然観察指導員」として登録されます。また、登録の条件として「NACS-J 普通会員」であることとしています。会員でない方は、講習会の受講時に入会することができます。



自然のちからで、明日をひらく。

日本自然保護協会
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

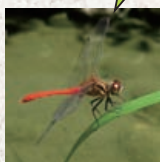
NACS-J は、日本の自然を守ることを目的として 1951 年に設立した民間の自然保護団体 (NGO) です。日本の自然を守るために、調査研究・政策提言・自然保護教育等の活動を展開しています。

NACS-J参加型プロジェクト

7月1日スタート!

自然しらべ2014 「とんぼさがし」

日本で見られるトンボの中から、近年、日本各地で数を減らしていると思われる、アキアカネなどの通称「赤とんぼ」と呼ばれるトンボの仲間に着目して、みんなで身近な水辺の自然の変化を明らかにしていきます。



マユタテアカネ

講習会を受講したら...

自然観察指導員 三重連絡会

[Web] <http://nacsjie.web.fc2.com/>

三重県の自然観察指導員の仲間が集まり、さまざまな情報交換やネットワークづくりをしています。連絡会では、年4回のニュースレターの発行や県内の観察会のお知らせなどの情報提供を行っています。

開催日 2014年 **9月6日(土)～9月7日(日)** 雨天実施

会場 **四日市市少年自然の家**

〒512-1105 四日市市水沢町字大谷 1423-2 (現地集合・解散) TEL 059-329-3210

費用 **20,000 円** (受講料、初年度登録料、NACS-J 個人会費、テキスト代、保険料、宿泊食費 (1泊3食) を含む)
※NACS-J 会員は個人会費分 5,000 円減額

定員 **60 名** (申込み多数の場合抽選・申込期間終了後 10 日以内に結果通知)

対象

- ・満 18 才以上で、1泊2日のすべてのプログラムを受講できる方
- ・自然保護教育の必要性を認識し、自然観察活動の推進に意欲があり、できるところから実践の第1歩を踏み出す意欲のある方、また現在活動されている方

9月6日(土)

9:30 開講式

野外実習 (1) 自然観察の視点
～森を通して自然のしくみを見にいこう～

講義 (1) 自然の保護
～生物多様性の保全と私たちの暮らし～

講義 (2) 自然の観察
～自然観察会と指導員の役割～

9月7日(日)

野外実習 (2) 自然観察会の企画
～こんなテーマで自然を観察しよう～

野外実習 (3) 自然観察会の企画
～自然観察会の下見から展開を考えよう～

野外実習 (4) 自然観察会の開催
～実際に自然観察会をやってみよう～

16:30 解散

講師紹介



清末 幸久氏

自然観察指導員
鳥取連絡会会長
鳥取県立博物館
主幹学芸員



福田 博一氏

公益財団法人
日本自然保護協会



布谷 知夫氏

三重県総合博物館
館長
NACS-J 自然観察指導員
大阪連絡会代表

申込み方法

① 申込書に記入して郵送

申込み先 〒512-1211 三重県四日市市桜町 3684-11
三重県環境学習情報センター 指導員講習会 係
TEL 059-329-2000

② ホームページの専用フォームで申込み

[Web] <http://www.nacsj.or.jp/>

自然観察指導員講習会

検索



環境学習推進員の
伊藤幸治が
担当しました!

活動レポートVol.6

環境・体験講座のようすを
紹介するゾウ!



朝日学童保育所日の本クラブ 「紙すき体験」

平成 26 年 4 月 3 日 (木)



牛乳パックで素敵なハガキ
作るうよ!



ごみの再利用、リサイクルの
大切さについてお話をしました。

今回は朝日町にある、社会福祉法人日の本福祉会 朝日学童保育所日の本クラブ（1〜4年13人対象）で行った「紙すき」の活動を報告します。

最初に、ごみとして捨てるものでも、再利用できるものがたくさんあることを話し、リサイクルの大切さについて伝えました。その中で牛乳パック6枚からトレットペーパー1巻ができることに皆さん驚いていました。

次に、皆さんが楽しみにしている牛乳パックからのハガキ作りを行いました。まず、牛乳パックを細かくちぎって



これでハガキが
作れるのかなあ?

牛乳パックを細かくちぎって
パルプ作りの準備をします。

それをミキサーにかけてドロドロにしました。(紙の原料パルプ作り)それを数回繰り返しバケツに貯めていきました。そのドロドロになったパルプをバット(紙すき容器)に入れていよいよ紙すきです。

①バットの中で2枚重ねた木枠で網の部分にパルプをのせます。厚くもなく薄くもないようにするのがコツです。この作業では、誰もが真剣な表情です。この作業では、誰もが真剣な表情です。この作業では、誰もが真剣な表情です。

②すいたパルプの水分をスポンジである程度とりまします。

③それを不織布に移し、アイロンをか

うまくすけると
いいな!



ドロドロにしたパルプを
網つき木枠ですいて
ハガキの原形を作ります。

センターでも、県内各地への出前でも、
どちらでも開催可能です!

社会見学の時に、あるいは学校の授業、市民団体の学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境・体験講座」をご利用ください。

「紙すき体験」

時間 1.5 ~ 2 時間

人数 30 人程度 (要相談)

対象 幼児以上

けて更に水分を除きます。

このあと、新聞紙に挟んで、完全に水分がとれたらマイハガキの完成です。

2 回目は、色紙を使ってパルプを作りカラーハガキにしました。また、草花を載せれば模様つきのハガキも作れます。

牛乳パックの紙すき以外にもちよつとした工夫で、空き缶・ペットボトル・段ボールなどを素敵なものに変身させることができます。

これを機会に身のまわりのものの再利用について、いろいろ工夫してはいかがでしょうか。

【報告】環境学習推進員 伊藤幸治

環境・体験講座

水質チェック、買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、ふろしき活用講座、地球温暖化防止と省エネルギー講座、自然体験(自然観察、星のはなし、バードウォッチング、水生生物調査)、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel (059)329-2000 までお問合せください。お申込みは原則、希望日の1か月前までをお願いします。



「Mie子どもエコフェア」を開催します!

平成26年 **7月19日(土)・20日(日)**
10:00~15:00 入場無料

子どもたちが、環境について体験しながら楽しく学べる県内最大級の環境イベント「Mie子どもエコフェア」を今年も開催します!

県内で環境活動に取り組む(50)以上の団体が参加し、自然のものを使った工作や太陽光で走るミニカー、地産地消の飲食ブースなど、夏の一日を存分に楽しんでいただける内容となっています。

また、フェア開催中は無料のシャトルバスを運行しますので、ぜひご利用ください。



Mie子どもエコフェア ブログ <http://ecofair.sblo.jp/>

「春のキッズエコフェア」を開催しました!

センターでは、4月26・27日(土・日)に「春のキッズエコフェア」を開催しました!

両日も天候に恵まれ、2,200人のみなさまにご来場いただきました。

また近隣3施設(四日市市ふれあい牧場、四日市スポーツランド、四日市市少年自然の家)と合同で『春のワクワクふれあいまつり』も同時開催しました。



「秋のキッズエコフェア」開催のお知らせ

平成26年 **9月27日(土)・28日(日)** 10:00~15:00

環境活動のPRができる!

今月の企画展示



12月

22世紀 奈佐の浜プロジェクト委員会

伊勢湾流域の漂着ゴミの問題に対し、東海地域の環境団体が協力し行動するプロジェクトです。清掃活動や、流木を減らすための森林整備などに取り組んでいます。



1・2月

三重県環境学習情報センター

情報誌「環境学習みえ」は、県内で環境活動をしている「人」にスポットを当て、その取り組みなどを紹介しています。今回は2009年~2013年冬号までを一挙に展示しました。



3月

「かんきょう絵手紙 ~届けよう! 私のちょっとエコ~」の全作品展示

平成25年度にセンターでは自然・地球環境・環境汚染・ごみリサイクル・省エネルギーなどをテーマに絵手紙を募集し、その入賞作品と応募いただいた全作品を展示しました。



4月

三重県地球温暖化対策課「キッズISO事業」

三重県では、県内の小学校児童が家庭における省エネルギー等の取組を通じて環境への関心を高める「キッズISO14000プログラム(入門編)」の取組を推進しています。



5月

エコモーション

バイオ式の生ごみ・ペットのフン処理機「New サム」の普及を通して、生ごみの削減を提案する企業です。

8月以降...

平成26年度

出展者募集中!

今月の企画展示では、環境にやさしい事業活動や環境保全に積極的に取り組む企業やNPO等の団体の活動状況を月替わりで紹介するものです。

環境活動をアピールしたい団体、学校、企業の方、ぜひご利用ください!

お申し込みは、環境学習情報センターまで



三重県環境学習情報センター 講座NEWS

詳細・お申込み方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合 地域NPOの場合 自治体の場合

2～3時間の研修にご利用ください。 メンバーのレベルアップにご利用ください。 市町での環境活動を増やすきっかけにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

環境学習指導者養成講座 自然観察指導員講習会

9月6日(土)～7日(日)一泊二日開催

会場	四日市市少年自然の家	期申込	7月5日(土)～8月5日(火)
内容	自然観察の視点や手法、自然の保護について学び、自然観察の実習を行います。この講習会を受講すると、(公財)日本自然保護協会の自然観察指導員に登録できます。		

環境学習指導者養成講座 インタープリター養成講座

①11月9日(日)②11月16日(日)
③11月30日(日)④12月7日(日)全4回開催

会場	三重県環境学習情報センター	締切	10月14日(火)
内容	自然のしくみや価値を伝える人(インタープリター)を養成する講座。実習やグループ活動が中心なので、楽しく学べます。		

夏休み子ども環境講座 全8回開催!

対象	小・中学生(講座によって学年制限あり)	締切	7月23日(水)
会場	講座によって異なります	申込み方法	往復ハガキのみ受付

- ①8月2日(土) マイ箸作りとふろしき体験
- ②8月3日(日) PPバンドで金魚モビールを作ろう!
- ③8月9日(土) 新エネルギー教室～風で電気を作ろう～
- ④8月16日(土) 牛乳パック望遠鏡を作ろう!
- ⑤8月17日(日) 三滝川調査隊～身近な川の生き物しらべ～
- ⑥8月19日(火) 環境バスツアー 行き先 とよたエコフルタウン 渡刈クリニンセンター
- ⑦8月23日(土) 光のサイエンス
- ⑧8月24日(日) 貝がらフォトフレームを作ろう!

*詳しくは7月初旬頃にホームページに掲載します

スキルアップ講座 同日2講座開催

【日程】8月23日(土) 【会場】サン・ワーク津研修室(津市)
【締切】7月31日(木)

環境先進都市を目指して

時間	10:00～11:30
内容	温室効果ガスの排出を大幅に削減し、低炭素社会の実現を目指す環境モデル都市:豊田市の取組を通して、「エコカー&高度道路交通システム」「環境共生住宅:スマートハウス」「人工林の健全化」等の対策からエコな未来の暮らしについて考えます。

ため池に魚をもどすには ～地域の生物多様性の復元～

時間	13:30～15:30
内容	外来種の問題などとともに実際に地域で行われている「池干し」の事例紹介とともに、里側の復元方法などのお話を聞き、地域の生物多様性について考えます。

スキルアップ講座 生態学シリーズ「生存戦略」

②9月13日(土)③12月6日(土)
④平成27年2月14日(土)全4回開催

会場	三重県総合博物館レクチャールーム(津市)	締切	チラシ参照
内容	②トンボ ③花 ④類人猿 *①は終了しました		

スキルアップ講座 地球温暖化と異常気象

11月27日(木)開催

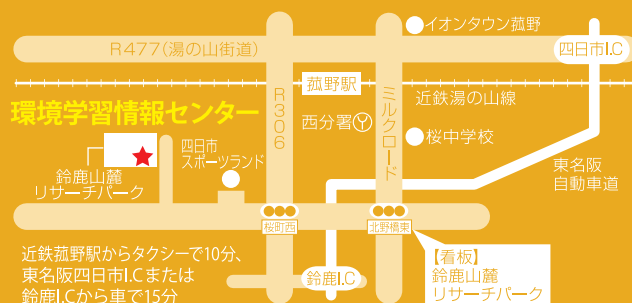
会場	三重県生涯学習センター中研修室(津市)	締切	10月31日(金)
内容	地球温暖化の進行は、自然及び人間生活に様々な弊害を及ぼしており、その中でも、台風の大型化、干ばつ・洪水などの異常気象によるものが顕著に表れています。そこで温暖化と異常気象の関係性について理解を深めます。		

講座	開催時期	講座	開催時期
環境工房 草木染め	10月25日(土)	冬の渡り鳥観察会	平成27年 1月17日(土)
環境工房 花炭をつくろう	12月6日(土)	環境学習指導者養成講座 環境学習リーダー養成講座～アクティビティ体験コース～	平成27年 1月
環境学習指導者養成講座 持続可能な社会をめざす人づくり講座《ESD入門》	12月20日(土)	環境学習指導者養成講座 環境学習リーダー養成講座～ファシリテーター養成コース～	平成27年2月～3月 全3回
子ども環境講座 ミニ門松づくり	12月21日(日)	環境学習指導者養成講座 みえ星空環境案内人養成講座	平成27年1月～3月 全4回
きらら環境アカデミーセミナー いのちと環境を考える	12月・平成27年3月 2回開催	環境学習指導者養成講座 プロジェクト・ワイルドエドゥケーター養成講習会	平成27年 3月

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい



講座予定